

令和6年度小平市節電対策基本方針

1 背景・目的

小平市では、小平市第三次環境基本計画において、小平市地域エネルギービジョンやエコダイラ・オフィス計画として位置づけ、地球温暖化の防止に向けて省エネルギーや創エネルギーの推進に取り組んでいます。

また、東日本大震災を契機とする電力供給不足に対し、平成23年度から夏季期間においては、数値目標を定め積極的に節電に努めております。今後も恒常的な省エネルギー対策、ひいては地球温暖化対策につなげるため、持続可能な節電対策を実施します。

2 基本的な取組

- (1) 「ムリなく、ムダなく、こまめな節電」を合言葉に、引き続き市をはじめ市民、事業者が一体となって節電に取り組めます。
- (2) 市の公共施設においては、一年を通して節電の取組を継続します。
- (3) 7月から9月までの夏季期間においては、平成22年度比15%以上の使用電力総量の抑制を行うとともに、使用最大電力の抑制にも努めます。
- (4) 今後の電力需給見通し等により、新たな対応が必要な場合は、改めて取組を強化します。

3 市の公共施設における具体的な取組

(1) 空調関係

夏季期間は28℃、冬季期間は19℃を室内温度の目安といたします。

施設の利用者等に過度の負担とならないよう、気象条件や施設の状況に合わせてエアコンの設定温度を適正に管理します。

冷暖房効率の向上を図るため、ブラインドや緑のカーテンを活用するとともに、クールビズ・ウォームビズによる執務を実施します。

(2) 照明関係

事務室内の照明の間引き点灯、昼休みや人のいない場所での消灯、残業時の最小限の点灯、特に、プルスイッチが設置されている蛍光灯についての離席時などの消灯の徹底など、こまめな対応を図ります。

ただし、夜間や雨天時等においては、過度な減灯にならないように、適切な照度を維持することとします。

各公共施設のLED化について、2030年までにLED照明導入率80%を目標に積極的に進めていくとともに、施設の規模等に応じて、リース方式やESCO事業の活用を図ります。

(3) OA機器関係

使用しないパソコンの電源の切断（退庁時には電源プラグをコンセントから抜く）、一定時間使用しない場合のスリープモードの活用など、電力使用の抑制対策を行います。

また、プリンターやコピー機については、節電モードを活用して、待機時の消費電力が

削減できるような設定を行うとともにペーパーレス化を図ります。

(4) エレベーター関係

職員のエレベーター使用は、体調等を考慮のうえで極力控え、「3アップ4ダウン」を合言葉に、階段の利用を奨励します。3アップ4ダウンとは、例えば、1階から4階までの上りや5階から1階までの下りは、極力階段を利用することです。

エレベーター稼働台数は状況に応じて抑制を図ります。

(5) 定時退庁の徹底

ノー残業デー（毎週水・金曜日）の定時退庁を徹底し、照明やOA機器の使用を抑制します。

(6) 進捗管理

各施設の電力使用の状況を四半期ごとに把握し、著しい電力使用が認められた場合は原因を精査し、抑制を図ります。

※その他、各施設において、施設利用者に過度な負担を強いることのないよう最大限の配慮をしつつ、施設の特性に応じた工夫により節電に取り組めます。

4 市民・事業者に対する取組

- ・市報やホームページ等を通じた節電対策メニューの周知や情報提供
- ・太陽光発電システム機器、蓄電池、断熱窓、燃料電池等に対する助成制度の拡充実施
- ・省エネ家電買換え促進助成の実施
- ・小平市民版環境配慮指針（こだいらゼロカー本）などを活用した普及啓発
- ・Web・アプリ版小平市環境家計簿の普及啓発
- ・東京都と連携した省エネ診断の利用促進
- ・緑のカーテン用の苗等の配布
- ・打ち水の実施の呼びかけ
- ・熱中症対策の啓発